

「みんなが かがやく 南条小」学校生活アンケート結果

*次頁グラフと合わせてご覧ください

☆重点1「誰一人取り残されることなく子ども同士で学び合う授業づくり」にかかわって

質問6～9の回答からもわかるように、子ども達は学習意欲を高めながら友と学ぶよさを感じてきていることがわかります。その要因として今年度全クラスで取り組んできた「かがやきモード」(3・4人グループ)での学び合いがあげられます。そして質問7や8からわかるように、私たちは子ども同士で教え合ったり伝え合ったりすることで自分の学びを深めていく授業を目指し、教師は子どもを信頼し任せるスタンスを心がけました。また質問8からもわかるように、chromebook を利活用することで自分の考えやわかったことをまとめることも簡単にできるようになりました。しかしながら、まだまだご家庭の皆様は授業や学校生活の様子を理解していただくことが不十分であったと感じています。今後は学校・学級通信やHP、懇談会等を活用しご家庭と共通理解を図りながら進めていきたいと思ひます。

☆重点2「一人ひとりが自分のよさに気づき、自分らしさを発揮できる学級作り」にかかわって

質問3・4・12に見られるように、本校の子ども達は、友だちや先生から自分のよさを認められると自覚しているけれど、自分のよさに自信がもてない傾向にあります。これは毎年度同様の結果です。そこで今年度、自分のやりたことに没頭できる時間として生活・総合的な学習の時間「かがやきの時間」を学級の中核に位置づけ、その中で課題を解決したり「人・もの・こと」と関わる中で自分のよさに気づいたりして欲しいと願ひました。今年度それぞれの学年・学級では特色ある活動が展開され、子ども達の生き生きとかがやく姿がたくさん見られました。また日々の生活の中でお互いのよさを共有し感じ合うことで、自分のよさも少しずつ自覚できるようになってきています。引き続き、自分らしく学び自分らしさが発揮できる学級・学校づくりを進めていきたいと思ひます。

☆あいさつにかかわって

質問2の項目ですが保護者の方との意識に差があるものの、学校では子どもたちが主体的にかかわる姿が増えてきました。高学年を中心にあいさつ運動が朝の昇降口で始まり、それを手本にした有志の1年生と一緒にあいさつ運動に加わってにぎやかな朝になりつつあります。その雰囲気の中で心地よいあいさつができる児童が見られはじめています。また月に1度地域の方によるあいさつ運動も継続して行っただき、気持ちのよいあいさつを目指す習慣を身につけていただひています。引き続き大切にしていきたいです。

11月に行いました「学校自己評価アンケート」にご協力いただきありがとうございました。結果をお知らせします。(「R4後期」は児童です。また左側の濃い部分が「そう思う」と「だいたいそう思う」にあたります。)

